

- 令和５年度のクラスマッチが９月２２日(金)に行われました。上位成績のクラスは以下の通りです。栄えある第１位を獲得したチーム・クラスにその思いを語ってもらいました。

令和５年度クラスマッチ結果（上位３位まで）

【午前競技】

順 位	第１位	第２位	第３位
ドッジボール	２年Ｋ組	２年２組	２年４組
バドミントンＡ	３年５組	３年Ｋ組	３年４組
バドミントンＢ	３年４組	３年６組	３年２組
卓 球	１年２組	３年４組	２年３組
オセロ	３年３組	１年５組	３年Ｋ組

【午後競技】

順 位	第１位	第２位	第３位
大縄飛び	３年５組	１年５組	２年６組
玉入れ	３年３組	２年Ｋ組	１年４組
綱引き（１年）	１年１組	１年４組	１年Ｋ組
綱引き（２年）	２年２組	２年６組	２年３組／２年４組
綱引き（３年）	３年Ｋ組	３年６組	３年３組／３年５組
リレー	１年１組	２年４組	１年５組
総 合	３年４組	２年２組	２年６組

1 ドッジボール〔2年K組〕

今年のクラスマッチは、雨の予報が出ている時間帯もあり、少し不安な気持ちもありましたが、無事に予定通り開催されることとなりました。昨年、私たちのクラスはドッジボールで準優勝という結果だったので、今年こそは優勝したいという気持ちでいっぱいでした。

最初の競技がドッジボールということもあり、気合いが入っていましたが、いざ始まるという時に雨が降り出してしまい、雨宿りをして雨が止むのを待ちました。小雨になり、クラスマッチがスタートし、私たちが対戦するクラスの試合を見た時に、とても強くて緊張しながら試合に挑みました。負けてしまうかもしれないと思った試合もあったけど、クラスのみんながたくさんボールをキャッチしたり、転びながらも必死に戦い、優勝することができました。

天候などの不安もありましたが、最後まで行うことができて本当に良かったです。このクラスマッチを通して、クラスの絆が更に深まり、最高の思い出ができました。(大越 夢叶)



2 バドミントンA〔3年5組〕

3年生は高校最後のクラスマッチで、3年5組は大縄跳びとバドミントンで1位を取ることができました。バドミントンでは、クラスの人数が少ないため1チーム2ペアで出場し、他のチームよりも多く試合をしました。5分間動き続けるため、疲労も増し、後半は体力勝負になることもありました。優勝しようとチームで目標を立てていたため最後までやり切ることができました。準決勝や決勝になると、バドミントン以外の種目のクラスメイトが応援に来てくれて、とてもエネルギーをもらいました。試合に勝ったらみんなでハイタッチをしてクラスの絆が深まった気がします。

今年のクラスマッチでは総合3位以内に入ることはできず、全体的には悔しい結果になりましたが、スポーツを通して普段はあまり関わりのない友達や先生、後輩との関わりがもててよかったと思います。クラスマッチで得た3年5組のみんなとの絆を生かし、今後の進路に向けて努力していきたいです。(川崎 優衣)



3 バドミントンB〔3年4組〕

私たちは、バドミントンBの種目で優勝することができました。あまり練習時間はなくクラスマッチ当日を迎えることになったので、不安や緊張がありました。しかし、チームの5人で団結して落ち着いて試合をすることができ、ペアの友人が支えてくれたので安心できました。また、クラスメイトが応援に来てくれて言葉をかけてくれたので、とてもうれしかったし、心強かったです。

私たち3年生にとって最後のクラスマッチだったので、このような素晴らしい結果を残せたことがとてもうれしかったです。コロナ禍でこれまで応援ができなかった分、みんなで応援する楽しさも経験できて思い出になりました。今後は受験に向けて、みんなで頑張っていきたいです。(渡邊 結衣)



4 卓 球〔1年2組〕

今回1年2組で卓球競技に出たのがみんな経験者で、半数以上のメンバーが自分のラケットを持参し、優勝する気満々でクラスマッチに臨みました。

久々の卓球は感覚が掴めず難しく感じましたが、やっていくうちに段々と感覚が戻ってきて現役時代に近いプレーができたと思います。各クラスの声援がすごく、コロナ禍での静かな試合が多かった私たちは、やっとコロナ前に戻ってきたという嬉しさもありました。先輩や友達に見られていることや十分に練習していなかったので中学時代に出た総体よりも緊張しましたが、みんなで楽しく卓球をすることができました。何より「優勝したよ」と伝えた時に2組のみんながとても喜んでくれたのが嬉しかったです。

(田尻 はな)



5 オセロ〔3年3組〕

私は、最後のクラスマッチでオセロ1位を取ることが出来、とても嬉しかったです。コロナの影響で他学年との交流がなかったため、クラスマッチを通して後輩とも話す機会が増え良かったと思います。

初めはやや緊張しましたが、友達と協力し合いながら相手に負けることなく勝ち進むことができました。この経験から私は仲間と協調し合うことの大切さを再確認し、そして同学年だけでなく他学年とコミュニケーションを取ることでの一体感を感じることができました。クラスマッチは年に1度しかないので貴重な体験をすることができました。そこから得たことや学んだことを自分の成長に繋げていきたいです。

高校最後のクラスマッチでしたが、1位を取ることができ、何より友達との関わりを通して良い思い出ができたと思いました。

(高島 未夢)



6 大縄跳び〔3年5組〕

今年のクラスマッチは、私たち3年生にとって最後の学校行事でした。そのため、クラスだけでなく学年全体で気合いが入っていて、とても盛り上がり、あつという間の一日でした。また、去年とは異なり午後の種目が増えたため、大縄跳びは全員での参加ではありませんでした。でも、20人で朝練や体育の授業での練習を重ね、納得のいく準備をしてきました。朝練では、全員揃わない時間があり大変な時もありましたが、揃った時にはみんなで励まし合いながら練習をしてきました。本番では、自分たちの出番の前に円陣を組んで団結し、クラスのみんなからの応援で全員が納得できるくらい跳ぶことができました。そして、最後の表彰式まで結果が分からず、内心とても不安でしたが、1位としてクラスと回数が呼ばれた時にはとても嬉しかったです。

学校行事はこれで終わりましたが、3年生の進路実現を目指し、クラス一丸となって今後学業に取り組んでいこうと思います。

(塙 梨菜)



7 玉入れ〔3年3組〕

クラスマッチ優勝を目指し、私たち3組は一週間前からLHRの時間を活用し、玉入れの練習に励みました。練習を始めた時は思っていたよりもカゴの高さが高く感じられ、なかなか思うように玉が入らず苦戦しましたが、投げ方や、カゴとの距離の取り方をチームメイトと話し合って作戦を立て、練習を重ねていくうちに段々と入っていく玉の個数も多くなり、玉入れ優勝のビジョンが見えてきました。

クラスマッチ当日は、午前中に雨が降ってしまい午後の競技である玉入れができるのか不安でしたが、みんなの思いも届いたのか無事雨も止み、涼しい気温で競技に集中することができました。学生生活最後の行事だったこともあり、3組一丸となって競技に集中して取り組み、白熱した戦いとなりました。そして練習の成果もあり、入れる玉が無くなりそうなほどカゴに玉を入れることができました。

今回培った団結力と集中力を受験で発揮していきたいと思いました。

(河野 愛菜)



8 綱引き(1年)〔1年1組〕

私たちのクラスは練習なしのぶっつけ本番で臨みました。準備も万全ではなく、焦りと不安でいっぱいでしたが、試合前にチームで作戦を立て、声を掛け合ったことで、1回戦は無事勝利することができました。

2回戦からは、1回戦が勝利できたことで余裕が生まれ、チームの団結力が更に深まり、2回戦、3回戦はストレートで勝利することができました。

今回のクラスマッチを通して、今まで知らなかったクラスメイトの一面を知ることができました。

1年生での初めてのクラスマッチで、1位を飾ることができてとても嬉しかったです。

(加藤 夢玲)



9 綱引き(2年)〔2年2組〕

私たちは綱引きに出場しました。運良くシード権を手に入れることができたので、出場しなかった1回戦目に戦略を練ることができました。その時間を利用し、試合開始のホイッスルに合わせてすばやく縄を引っ張る練習をみんなで繰り返し行いました。また、並び順では、腕力に自信のある人で前方と後方を埋めるなどの工夫を凝らしました。そして迎えた本番では、みんなで声をかけあい、力を合わせて試合に挑むことができました。練習の成果を発揮し、相手チームより一足先に綱を引くことができ、試合を有利な方向に持っていくことができました。その結果、一度も負けることなく勝ち進むことができました。正直初めは決勝までたどりつけると思っていなかったもので、優勝が決まった時には、とても嬉しく仲間と共にその気持ちを分かち合うことができました。

クラスマッチを通してクラスの団結を強めることができ、貴重な思い出を作ることができて良かったです。

(石川 玲華・渡辺 紗矢)



10 綱引き(3年)〔3年K組〕

私は高校生になって3度目のクラスマッチで初めて綱引きで優勝しました。今年は高校最後のクラスマッチでもあり、優勝目指して皆が気合いを入れて取り組んでいました。午前の部の競技では惜しくも勝利することができませんでしたが、午後の部では綱引きで優勝することができました。

これまでの3年間、私たち家政科はファッションショーや文化祭、修学旅行などといった学校行事を共にしてきて、その中で身に付いた「団結力」をクラスマッチの綱引きで発揮することができたと思います。また、競技に参加している人だけでなく、相手に綱を引っ張られて苦しい時、外で応援してくれた人たちのおかげで優勝することができたと思います。

高校最後のクラスマッチを行って、何事にも目標をもって取り組むことの大切さを改めて学ぶことができました。これからはこの経験を進学や就職に生かしていきたいと思います。(工藤 愛果)



11 リレー〔1年1組〕

小雨から始まったクラスマッチ。このままなくなってしまうのだろうか、そう思いました。しかし、私たちのリレーの競技に入る頃には天気は晴れに変わっていました。

クラスマッチ前日の朝、初めての練習をしました。バトンパスは正直上手くないことが多々あり、チーム内でもまとまりがあまりなく、大丈夫かなと不安でした。

そして迎えた本番、緊張のなかりレーの競技がスタートしました。初め先頭集団にいて、そこから徐々に抜いていき、第4走者で1位になり、そのまま1位をキープしてゴールしました。

1年生で初めてのクラスマッチで1位を取ることが出来てとても嬉しかったです。来年は同じメンバーで走ることは難しいと思いますが、良い思い出を作ることが出来ました。(平野 綾花)



12 総合優勝〔3年4組〕

クラスマッチを通して、私たちのクラスは一致団結し、より仲を深めることができましたと思います。他のクラスよりも人数が少ないという状況ではありましたが、全員が自分の種目に取り組み、カバーし合いながら、優勝することができました。

ドッジボールでは大雨の中戦い、バドミントン、卓球では上位入賞することができました。午後は大縄跳び、玉入れ、綱引き、リレーをグラウンドで行いました。それらの種目は、これまで練習の後に作戦を話し合ったり、朝練習をしたりして、みんなで協力し合って準備してきました。本番では、その成果が出せて良かったです。

結果発表の時、総合優勝で3年4組が呼ばれた瞬間の喜びは忘れられません。みんなで勝ち取った優勝で、みんな最高の笑顔でした。

これからは各々の進路実現のために、お互いに支え合って受験勉強を頑張り、高校生活の残りを大切に過ごしたいと思います。

(相澤 天音)

